

2020年度事業報告

政府の経済見通しによれば、2020年度の経済動向は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」「令和2年度第1次・第2次補正予算の効果も相まって、持ち直しの動きがみられる。他方、経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、経済の回復は道半ばである。とされている。さらに、2021年1月から、本県を含む10都府県を指定地域とする、2度目の緊急事態宣言が発出され、飲食業の夜間営業自粛など様々な対策が実施されており、2月28日に指定解除されたものの、依然として予断を許さない状況にあって、今後とも内外の感染拡大による影響が国内経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要がある、とされ、2020年度の実質GDP成長率はマイナス5.2パーセント、名目GDP成長率は、マイナス4.2パーセント、消費者物価変化率は、マイナス0.6パーセント程度と見込まれている。

また、日銀北九州支店による「北九州・京築地区の金融経済概況」（2021年2月15日）では、北九州・京築地区の経済は、厳しい状況にあり、足元では新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、持ち直しの動きが一服している、との見方がなされている。

当振興会は2020年度も、地域企業等のニーズに対し、適正かつ適確な技術支援を持続的に行い、技術・技能の高度化に貢献することを使命として、教育研修、材料試験、機械加工の公益3事業の効率的かつ効果的な運営に努めた。

本年度の事業収入の概況は、教育研修事業では、クレーン関係講習や非破壊検査講習が、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止や延期、受講定員減などの調整を余儀なくされ、前年度より、売り上げを落としている。機械加工事業についても、昨年に引き続き自動車や半導体等の製造業が、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による不透明感の増大を反映して受注が減少し、減収傾向のままである。ただ、材料試験事業は、公共工事等が減少したものの、鉄鋼関係、コンクリート、プラスチック、フィルムとも一年を通じて好調を保った。3事業のトータルとしては、新型コロナウイルス感染症の影響もあって対前年度比で減収となった。

2020年度の事業ごとの実施状況は、次のとおりである。

1 教育研修事業

クレーン関係及び非破壊検査関係の資格等に関する講習会並びに北九州市委託の技術者研修を実施した。また、他機関への研修室等の提供や、(一社)日本非破壊検査協会九州支部の事務局としても、技術サロンや講演会開催等を支援した。

事業収入は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり平成30年度、2019年度に引き続き2020年度も減収となった。

まず、クレーン関係は、受講者数での284名、920万円余の減収、非破壊検査関係は、1度目の緊急事態宣言により4月～6月は講習会が実施できず、7月以降も定数制限をかけたため、前年度と比べて418名、912万円余の収入減となった。

年度別 推移表	2018年度		2019年度		2020年度	
	受講者数	金額(千円)	受講者数	金額(千円)	受講者数	金額(千円)
クレーン関係	3,390	107,321	2,961	102,269	2,677	93,068
非破壊関係他	1,487	37,810	1,198	29,896	780	20,767
施設貸与収入		10,806		9,423		8,240
合計	4,877	155,937	4,159	141,588	3,457	122,075

2 材料試験事業

製造業や建設業を対象に金属材料・有機材料の引張試験やコンクリートの圧縮試験等の強度試験を実施した。また、2020年度は平成29年度に取得したISO9001の着実な実施とともに、内部監査等を通じて職員の意識の向上を図った。

事業収入は、平成26年度以降、2020年度に至るまで5千万円台を保持しているが、2020年度は、前年度と比較して3,218件、181万円余の減となった。

年度別 推移表	2018年度		2019年度		2020年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	本数	金額(千円)
鉄筋・引張	12,784	16,370	15,241	20,547	11,656	16,152
コンクリート	3,210	10,987	3,030	10,394	3,118	10,720
その他	10,436	26,862	10,201	26,828	10,480	29,086
合計	26,430	54,219	28,472	57,769	25,254	55,958

3 機械加工事業

地域の中小製造業等への技術支援として金属製品の機械加工を実施するとともに、これまで培ってきた知識や経験をもとに、技術的な助言・指導を行った。

事業収入は、平成20年度のリーマンショック以前は9千万円を超えていたが、毎年度減少し、2020年度は4千万円を下回り3千8百万円余となった。

年度別 推移表	2018年度		2019年度		2020年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
機械加工	984	48,439	1,041	47,398	934	38,383
技術相談	24		13		32	

参考資料 3事業合計

事業名	2018年度	2019年度	2020年度	
	実績(千円)	実績(千円)	予算(千円)	実績(千円)
教育研修事業	155,937	141,588	121,808	122,075
材料試験事業	54,219	57,769	52,043	55,958
機械加工事業	48,439	47,938	45,000	38,383
合計	258,595	247,295	218,851	216,416

4 設備拡充

2020年度は設備拡充を行わなかった。

5 行政及び各関係機関、団体との協力

福岡県、北九州市及び九州経済産業局等の行政機関、大学、経済団体等が推進する産業技術の開発や交流・連携等の事業には積極的に参画・協力を行った。

- (1) 福岡県ものづくり中小企業推進会議
- (2) 公益財団法人 北九州産業学術推進機構
- (3) 一般社団法人 日本非破壊検査協会 九州支部事務局
- (4) 北九州商工会議所
- (5) 一般社団法人 北九州中小企業団体連合会
- (6) 福岡県立戸畑高等技術専門校